

## 竜巻等突風予測情報の利活用に関する 関係事業団体等聞き取り調査（訪問調査）結果

関係事業団体等における竜巻等突風予測情報の利活用状況や突風対策の現状、情報の改善要望等について聞き取りを行っている。現時点の結果は次のとおり。

### 【屋外イベント関連（エア遊具）】

#### ＜突風対策の現状＞

- ・エア遊具設置に関する基準（安全運営の10ヶ条）が設けられている。その中で、設置にあたっては“気象庁発表の注意報、警報が発令されていない”ことを確認すること、突風等によりイベントを中止した後の再開にあたっては“強風、雷、などの注意報、又は竜巻注意情報が発令されていない”ことを条件としている。
- ・本社で当番者が民間のホームページで雨・風・雷等の気象状況を、気象庁ホームページで竜巻注意情報の発表状況を監視して適宜イベント現場へ連絡している。
- ・竜巻発生確度ナウキャストまで監視する余裕はなく、利用していない。

#### ＜改善要望等＞

- ・竜巻注意情報は警報・注意報と比べて取扱いが軽く、民間のホームページでは警報・注意報しか見られないものが多い。竜巻注意情報も見られるようになるとよい。
- ・竜巻注意情報の発表対象範囲は、精度を上げるため広域にするよりも、精度が下がっても対象範囲を細かくしてもらったほうが使いやすい。
- ・竜巻注意情報と竜巻発生確度ナウキャストの両者を確認するのではなく、確認すべき情報は1つの方が圧倒的に使いやすい。

### 【鉄道事業者】

#### ＜突風対策の現状＞

- ・風による運転規制は沿線に設置している風速計の観測値により実施。
- ・竜巻注意情報は発表対象範囲が広く、竜巻発生確度ナウキャストも含めて精度が低いため、列車の運転規制には利用していない。

#### ＜改善要望等＞

- ・竜巻等の突風やその予兆現象についての知識を社員に周知したいが、パンフレットだけでは実感が持てない。動画等の啓発資料があるとよい。